



受賞作品

<p>第38回 新田次郎文学賞 『月まで三キロ』 伊与原新 // 著 (F イヨ)</p>	<p>「月は1年に3.8センチずつ、地球から離れていってるんですよ」死に場所を探してタクシーに乗った男を、運転手は山奥へと誘う。表題作をはじめ、折れそうな心に寄り添う、全6話を収録。</p>
<p>第72回 日本推理作家協会賞 『凍てつく太陽』 葉真中顕 // 著 (F ハマ)</p>	<p>昭和20年、終戦間際の北海道・室蘭。陸軍の軍事機密をめぐる、軍需工場の関係者が次々と毒殺される。アイヌ出身の特高刑事・日崎八尋は先輩刑事とともに捜査に加わるが…。</p>
<p>第66回 産経児童出版文化賞 JR賞 『しあわせの牛乳』 ※5月号にも掲載 佐藤慧 // 著 (641 サ) 児童書</p>	<p>岩手県の「なかほら牧場」の牛たちは、一年を通して山で生活しています。糞尿処理は自然まかせ。牧場長の中洞正さんは、なぜ、この牧場をつくったのでしょうか。自然と人間のやさしい関係を描きます。</p>
<p>第6回 高校生直木賞 『熱帯』 森見登美彦 // 著 (F モリ)</p>	<p>沈黙読書会で見かけた奇妙な本「熱帯」。それは、どうしても「読み終わられない本」だった。結末を求めて悶えるメンバーが集結し、世紀の謎に挑む!</p>

ドラマ化作品

<p>仮面同窓会 出演: 溝端淳平, 瀧本美織 ほか 『仮面同窓会』 雫井雄介 // 著 (F シズ)</p>	<p>高校の同窓会で再会した旧友4人は、生徒を囚人扱いしていた教師に仕返しを計画。暴行して置き去りにするも、翌日なぜか教師は暴行現場から2km離れた溜め池で溺死体となって発見された。誰が教師を殺害したのか?</p>
<p>神の手 出演: 椎名桔平, 杉本哲太 ほか 『神の手 上・下』 久坂部羊 // 著 (F クサ 1・2)</p>	<p>安楽死は慈悲か殺人か。日本版ポストマ事件と安楽死法の制定をめぐる、医師、患者、政治家、官僚などが、それぞれの思惑から闘いを繰り広げる。医療の世界の光と闇を抉り出す、迫真の医療ミステリー。</p>

映画化作品

<p>二宮金次郎 出演: 合田雅吏, 田中美里 ほか 『二宮金次郎の一生』 三戸岡道夫 // 著 (F ミト)</p>	<p>農民から幕臣となり、藩の改革に努め、600の村を救い、数万人を飢饉から守った二宮金次郎。強靱な精神力と清貧で、慈悲の心を持つ偉大な日本人の生涯に迫る。</p>
<p>泣くな赤鬼 出演: 堤真一, 柳楽優弥 ほか 『泣くな赤鬼』(『気をつけ、礼』収録) 重松清 // 著 (F シゲ)</p>	<p>「センセ、オトナにはなして先生がおらんのでしょうか」。怖かった、うるさかった、オトナのくせに情けなくて、でも、あの後ろ姿が忘れられない。時が流れること、生きていくことの切なさをやさしく包み込む物語。</p>
<p>今日も嫌がらせ弁当 出演: 篠原涼子, 芳根京子 ほか 『今日も嫌がらせ弁当』 ttkk // 著 (596 テ)</p>	<p>お弁当名「呪いのランチタイム」「食欲減退」「本音吐露」…。「仕返し弁当」を高校3年間、作り続け、食べ続けたシングルマザーと反抗期女子高生親子の泣き笑いお弁当エッセイ。</p>
<p>ピアッシング 出演: クリストファー・アポット ほか 『ピアッシング』(『村上龍自選小説集2』収録) 村上龍 // 著 (F ムラ 2)</p>	<p>惨劇は、殺人衝動を持つ男と、自殺願望を持つ女が出会った夜に始まる。誰の心にも潜む、もうひとりの自分が引き起こす壮絶なサイコスリラー。ニードルが乳首を貫くとき、美と勇気は現れる。</p>